

# 汲中だより

令和2年4月13日 横浜市立汲沢中学校

( 4月号 ) NO.

#### 汲沢中学校 学校教育目標

「自ら学び、互いに認め合い、たくましく生きよう」

- 〇自ら考え、自ら学ぶ力を高めます。 (知)
- 〇自分の道を切り拓き、自己決定できる力を高めます。(徳・体)
- 〇他との関わりを大切にし、共に生きていこうとする力を高めます。 (公・開)

### ご入学おめでとう・進級おめでとう

田邊 正彦

一年の計は1月1日の元旦。プロ野球は2月1日がキャンプイン。学校は始業式、入学式がスタートとなります。例年4月5日が始業式や入学式でしたが、令和3年度は4月7日となりました。

さて、1年生の皆さん。ご入学おめでとうございます。心から歓迎いたします。今年で創立 45年となる汲沢中学校。1万人を超える生徒が卒業しています。そんな伝統ある汲沢中学校の一員となり、これからは中学生として、大人への成長をしてください。入学式でも話しましたが、人としての目標にもなる、"自立"するために、多くのことを学んでください。そして自 分自身の才能を見つけてください。

2・3年生の皆さん。進級おめでとうございます。3年生はこの1年間の学校行事は、すべて「中学校生活最後」という冠がつきます。今まで通りそれぞれの行事を大切に思い、自分の最大限の挑戦をしてください。

2年生は、後輩ができました。しかし先輩もいます。でも、2学期からは、委員会活動や部活動はみなさんが中心になります。汲中の歴史に残る最大の学年になる準備をしてください。 そして3年生になったときに、後輩から憧れを持たれる、魅力ある学年となるよう力を付けてください。

令和3年度も引き続き新型コロナウイルス感染拡大防止を意識しながら、諸活動を行っていかなくてはなりません。先が見えないことは不安があります。しかし、令和2年度でウイルスに対する対応も少しずつわかってきました。マスクの重要性。マスクなしでの会話は、感染リスクを高めます。また、お互いの距離。そしてまめな手洗いや換気に気を付けることで感染リスクは低くなります。



一番怖いのは、"気のゆるみ"です。「自分は感染しない」といった、根拠のない自身が、 感染拡大を広げていくのだと思います。生徒の皆さんはそんな気持ちはないと思いますが、今 一度自身の立ち振る舞いに気を付けましょう。

だれもが、安心して豊かな学校生活が送れるよう、生徒、保護者、教職員で協力し合い頑張っていきましょう。

## 相談窓口

学校では、生徒、保護者のみなさんからのご相談をお受けしています。 まずは 学級担任や学年主任にご相談ください。内容によって担当がおります。

〇生徒指導上のご相談

担当者:紀平 優(生徒指導専任教諭)

連絡先【電話:861-5303】

Oスクールカウンセラー(SC)

臨床心理士 中野 早苗 (原則 毎週金曜日に来校しています)

※令和3年度着任

汲沢中学校"こころの相談室"への連絡先【電話:861-5940】

※金曜日以外または不在の場合は、留守番電話にお名前と電話番号をお知らせください。折り返しカウンセラーからご連絡をいたします。

〇セクシュアル・ハラスメントの相談

セクシュアル・ハラスメント防止のため、校内に相談窓口を設置しています。秘密は 厳守いたします。相談窓口となる担当者は次のとおりです。

担当者:岡澤 貴雅(副校長)、片岡 勝江(養護教諭)

紀平 優(生徒指導専任教諭)

(閉庁日を除く平日) 【電話:861-5303】

※教育総合相談センターの一般教育相談も、セクハラ相談窓口として利用できます。

【電話:671-3726】 月~金 9:00~17:00

〇特別支援教育に関するご相談

子どもは一人ひとり違う存在であり、個性があり、興味・関心や能力など個人差があります。どの子どもにもそれぞれの良さや課題を持っています。本校では特別な支援を必要とするお子さんの教育について、相談を行っています。

担当者:紀平 優、片岡 勝江、または各学年主任まで。

【電話:861-5303】

## 8887

さて、表題の数字はなんだと思いますか?

実は、これは、1年生の皆さんが入学式の日に教室で受け取った教科書15冊分の値段です。ひとり8,887円の金額になります。この教科書代金は義務教育のため無償となり、すべて税金で支払われています。今回汲沢中学校に入学した新入生は、154名なので、汲沢中だけでも1,368,598円の税金が使われています。

1947年に公布された学校教育法により、今の義務教育は始まりました。はじめの頃は義務教育と言っても、授業料も徴収され教科書も有償でした。現在のように、教科書が9年間無償になったのは、1969年(昭和44年)からです。今は当たり前のように受け取っていますが、無償となるまでには多くの人たちの努力があったのです。

そこには、ある願いが込められています。それは、「次代を担う子どもたちに対し、我が国の繁栄 と福祉に貢献してほしいと言う国民全体の願いを込めて、その負担によって実施されております」と、 言う文章が、小学校の時に配られたピンク色の袋の裏に書かれています。

いつの時代にも、また大きな災害や被害に見舞われても教育の重要性は語り継がれています。生徒の皆さん一人ひとりは、この国の大人たちにとってかけがえのない存在なのです。願いをしっかり受け止めて、教科書を大切に扱い、学業に専念してほしいと思います。